

乳がん高度検診・治療センター

NEW-す No.126



進行・再発トリプルネガティブ乳がんへの新たな治療戦略 ～新規治療薬「トロデルビ®」への期待～

進行・再発乳がん治療のうちでも一筋縄ではいかないトリプルネガティブ乳がん*については、このセンターニュースでも何度かとりあげてきました。近年、この手ごわいタイプの乳がんに対する治療法も進歩してきましたが、あらたにトロデルビ®（一般名：サシツズマブ ゴビテカン）が市販され、その効果に期待が寄せられています。

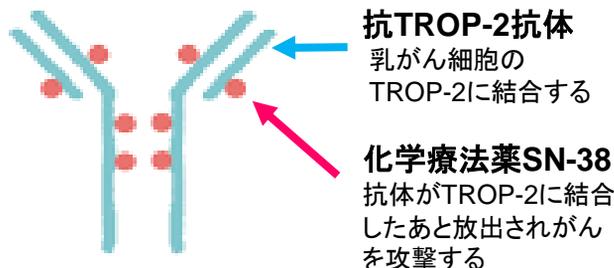
*トリプルネガティブ乳がん：ホルモン受容体やHER2（ハーツ）というタンパクを持たない乳がん

トロデルビ®とはどんな薬？

近年、TROP-2（トロップツー）という物質がトリプルネガティブ乳がんにも多く発現していることが明らかにされました。このTROP-2を標的とした治療薬がトロデルビ®です。

トロデルビ®は、TROP-2に結合する部分である抗TROP-2抗体に、化学療法薬（抗がん剤）SN-38を結合させた、「抗体薬物複合体」というカテゴリーに属する薬剤です。すでに、このセンターニュースで紹介してきた、HER2陽性乳がんで使用されるカドサイラ®（一般名：トラスツズマブ エムタンシン）やエンハーツ®（一般名：トラスツズマブ デルクステカン）なども、この抗体薬物複合体の一種です。

「トロデルビ®」の構図



トロデルビ®の対象となる乳がん、その投与方法

トロデルビ®は、化学療法歴のあるホルモン受容体陰性かつHER2陰性（＝トリプルネガティブ）の手術不能または再発乳がんが、その治療の対象となります。

本剤は、21日を1サイクルとして、各サイクルの1日目および8日目に点滴静注で使用されます。

トロデルビ®の副作用

- トロデルビ®の副作用として注意せねばならないものとしては、まず好中球減少症などの骨髄抑制があげられます。感染症にかかりやすくなったり、熱が出ますので、当院では最も影響が出る時期に、ジールスタ®（一般名：ペグフィルグラスチム）という好中球を増やす薬を予防的に使用しています。

次いで下痢、腸炎があげられますが、これに対しても適宜予防的に治療薬を処方しています。その他、脱毛、吐き気・嘔吐、疲れやすくなる、などです。

トロデルビ®の作用機序

トロデルビ®は以下のような作用機序でがん細胞を攻撃し、乳がんの増殖を抑えます。

まず、体内に入ったトロデルビ®は、がん細胞表面のTROP-2に結合してがん細胞に取り込まれます。ついで、抗TROP-2抗体から化学療法薬SN-38が離れ、がん細胞を攻撃します。さらにSN-38は標的とするがん細胞だけでなく、TROP-2を持たない周囲のがん細胞も攻撃するとされています。

